

# 地下施設の見学について



(深度350m調査坑道)

- 見学にあたっての注意事項 P.2~4
- 見学場所・ルートについて P.5 ~7
- 見学時の装備・服装 P.8
- 緊急事態が発生した場合 P.9~11

# 見学にあたっての注意事項(1)



安全及び設備上の観点から、次の方はご遠慮下さい。

1. 自立歩行が困難で介助(車椅子、松葉杖、杖等)が必要な方
2. 小学3年生以下のお子さん(保護者同伴の場合も不可)
3. お酒を飲んでいる方
4. 高所・閉所恐怖症の方



# 見学にあたっての注意事項(2)



- 見学中は案内者(機構職員)の指示に従ってください。
- 落下防止の観点から、物品の持ち込みを原則禁止としています。カメラ等(携帯電話を含む)を持ち込みたい方は事前にお申し出ください。落下防止用のストラップをお貸しします。
- 火器類(ライター、マッチなど)の持込みは厳禁です。
- 現場には階段や段差がありますので足元や頭上には十分に注意してください。
- エレベータ(人キブル)の中では静かにしてください。跳ねたり揺らしたりすると、安全装置が作動してエレベータ(人キブル)が停止することがあります。



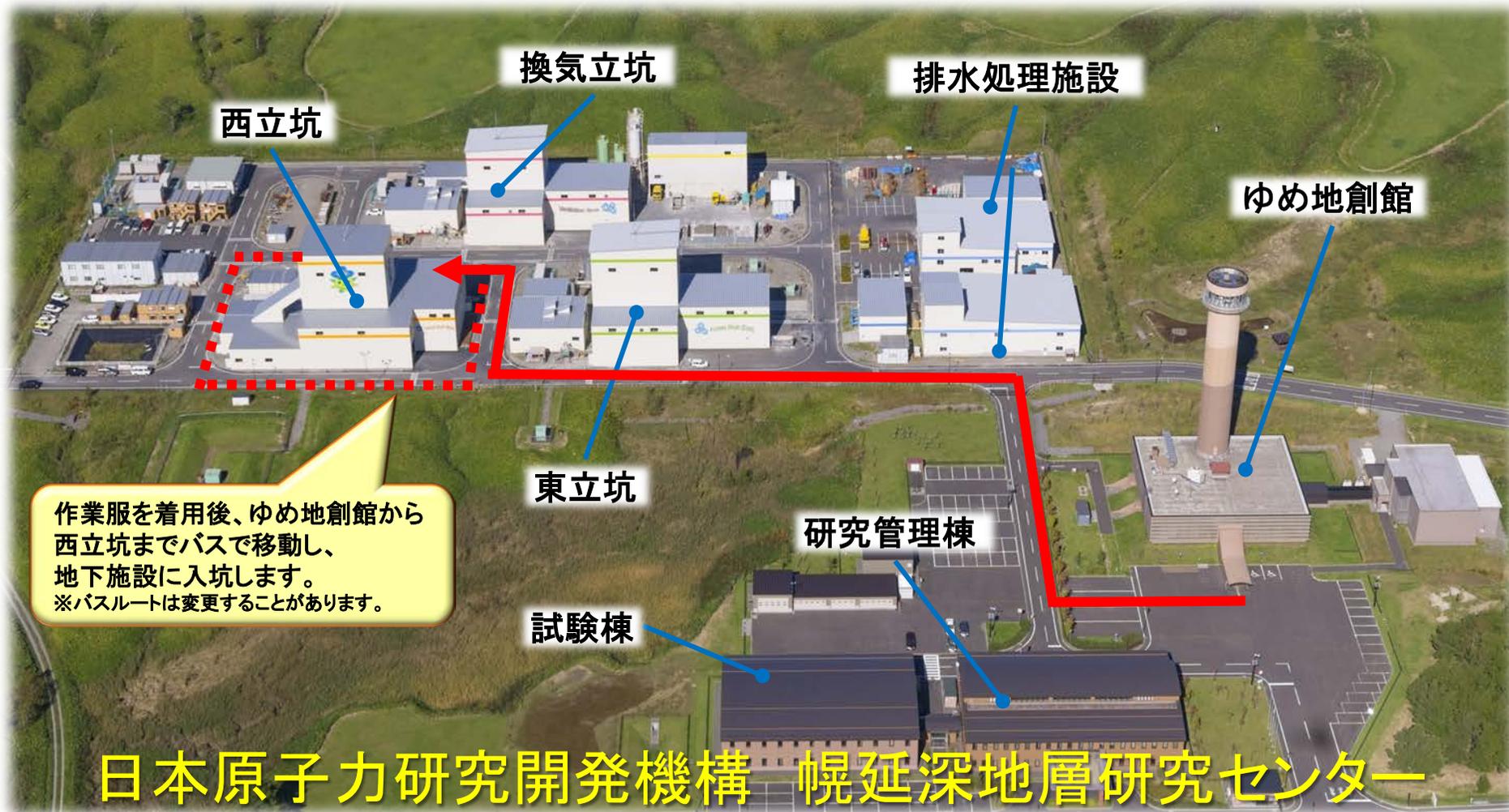
# 見学にあたっての注意事項(3)



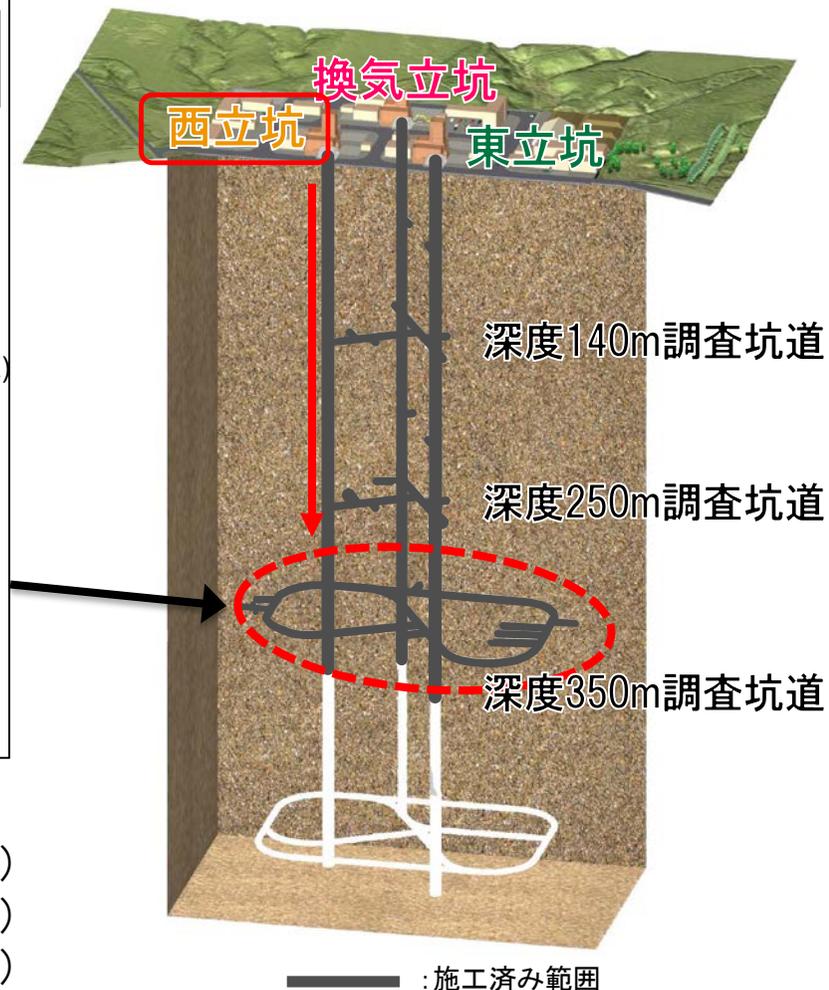
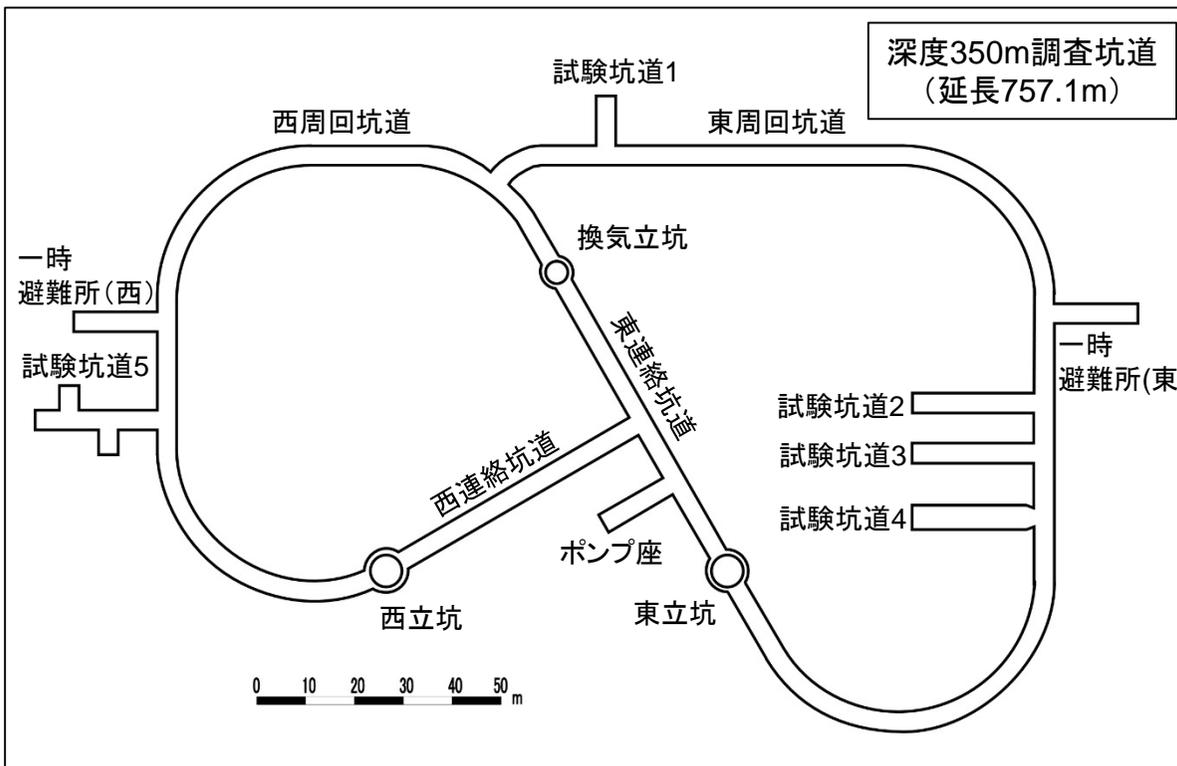
- 施設の設定備や機器に触れないでください。
- フェンスから身を乗り出したり、カメラを突き出して撮影しないでください。
- **地下施設にトイレはありません。** 事前にお済ませください。万一の場合は、一時避難所の簡易トイレをお使いいただきます。
- 地下施設で飲食はできません。
- 途中で気分が悪くなった場合は案内者にお申し出ください。



# 見学場所・ルートについて(1)



# 見学場所・ルートについて(2)



## ○立坑

- 西立坑(深度365m)
- 東立坑(深度380m)
- 換気立坑(深度380m)

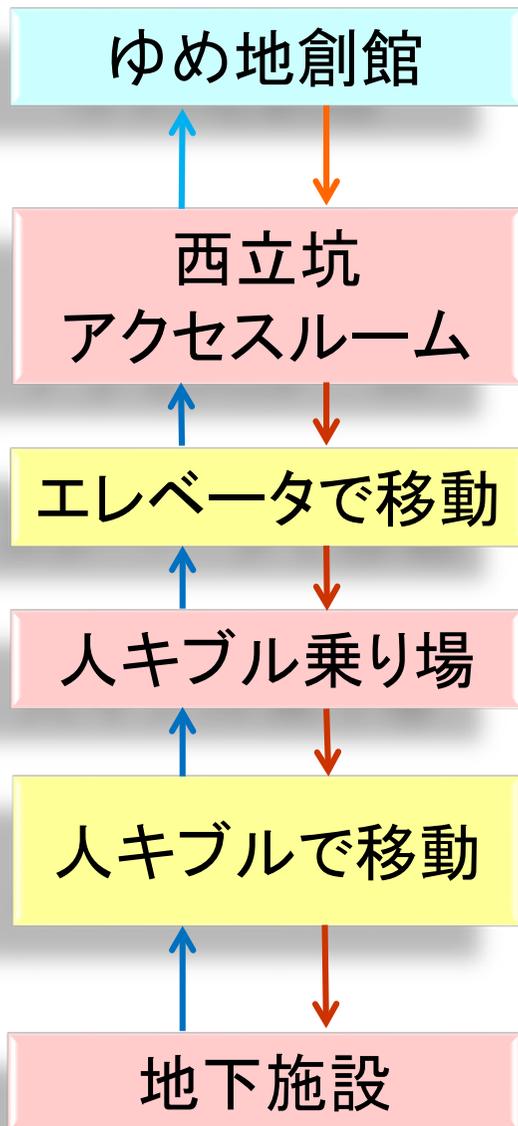
## ○水平坑道

- 深度140m調査坑道(延長186.1m)
- 深度250m調査坑道(延長190.6m)
- 深度350m調査坑道(延長757.1m)

※このイメージ図は、今後の調査研究の結果次第で変わることがあります。

## 地下施設の概要図

# 見学場所・ルートについて(3)



- ・トイレ
- ・着替え



人キブル乗り口

- ・入坑登録

- ・見学時の定員11名  
(70kg/人を目安)で運用  
(案内者、操作者含む)

- ・深度350m調査坑道の  
見学



人キブル全景

※安全装置が  
作動して停止  
することがあり  
ます。

# 見学時の服装・装備



ヘルメット

・頭の保護

つなぎ服

・かすり傷や衣服の汚れの防止

懐中電灯

・停電時等非常時に使用  
(首に掛ける)

反射チョッキ

・工事作業者との区別  
・目立つように

手袋

・手の怪我や汚れを防止

入坑許可証

・入坑時に使用  
(首に掛ける)

安全長靴

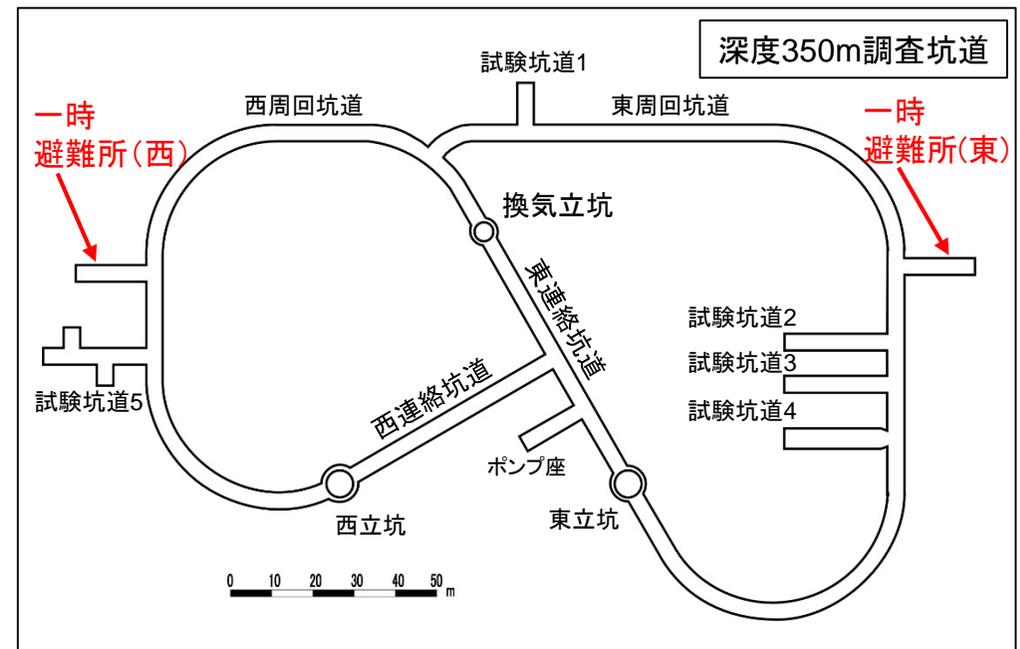
・足の保護の為に鉄芯入り  
(25cmで片足約800g)

**お互いに確認しましょう!**

# 緊急事態が発生した場合(1)



- 優先的に地上に退避していただきます。  
落ち着いて案内者の指示に従って地上へ退避して下さい。  
負傷者がいる場合は、最優先で避難していただきます。
- すぐに退避できない場合は、一時避難所で待機していただくこともあります。



一時避難所

# 緊急事態が発生した場合(2)

- 一時避難所には、緊急用給気設備等が設置されています。
- 必要に応じて、避難用酸素マスクを着用して退避していただくこともあります。
- 救急箱が設置されています。必要な場合はお申しつけください。
- 一時避難所には簡易トイレが設置されています。

酸素マスクを受取り  
アルミ袋を開ける



①袋から取出す



②ヒモを→の  
方向に引っ張る



③ヘルメットを  
外して装着する



## 避難用酸素マスクの着用



④マスクを顔面  
に密着させる



⑤ヘルメットを  
着け退避する



緊急用給気設備

避難用酸素マスクは、以下の特徴があります。

- ① 酸素欠乏・有毒ガス・煙で使用可能
- ② 約10分使用可能
- ③ 使用中に呼気温度が熱く感じることもあるが異常ではない
- ④ 使用中は酸素マスクを外さないこと
- ⑤ 開封直後1回限り有効
- ⑥ 避難時、火に近づけないこと



それでは、皆さま、地下の世界へ！



深度350m調査坑道